

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成25年2月7日 (2013.2.7)

【公開番号】特開2011-248670(P2011-248670A)
 【公開日】平成23年12月8日 (2011.12.8)
 【年通号数】公開・登録公報2011-049
 【出願番号】特願2010-121763(P2010-121763)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 13/00 5 5 0 L

G 0 6 F 3/048 6 5 1 C

【手続補正書】
 【提出日】平成24年12月12日 (2012.12.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 1 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1 2】

前記クライアント端末は、前記入力操作画面の表示用フォーマット情報を前記識別情報と対応付けて予め記憶する記憶部を備え、

前記クライアント端末にて、前記中継サーバから送信された前記識別情報に対応する表示用フォーマット情報を前記記憶部から取得して、該表示用フォーマット情報に基づいて前記入力操作画面の画像を生成するとともに、前記ユーザインタフェース情報で表示指示された要素は前記入力操作画面中表示させる一方で、前記ユーザインタフェース情報で非表示指示された要素は前記入力操作画面中表示させない処理を行うことを特徴とする請求項 1 1 に記載の W e b 閲覧方法。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 0】

本発明の一実施形態にて、前記クライアント端末は、前記入力操作画面の表示用フォーマット情報を前記識別情報と対応付けて予め記憶する記憶部を備え、前記クライアント端末にて、前記中継サーバから送信された前記識別情報に対応する表示用フォーマット情報を前記記憶部から取得して、該表示用フォーマット情報に基づいて前記入力操作画面の画像を生成するとともに、前記ユーザインタフェース情報で表示指示された要素は前記入力操作画面中表示させる一方で、前記ユーザインタフェース情報で非表示指示された要素は前記入力操作画面中表示させない処理を行うことを特徴とする。